

佐野市景況レポート

令和4年4～6月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

景況感悪化は一服するも原材料・仕入価格の高騰続く

【 令和4年4～6月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲30.7、前期（3月期）比+7.5ポイントと、市内事業所の景況感はやや改善しました。

利益DI指数▲41.7（前期比+1.4）、売上高DI指数▲28.5（前期比+6.7）と売上高指数に比べ利益指数の改善は僅かでした。原材料・仕入価格DI指数は72.0（前期比+8.0）、販売価格DI指数は17.9（前期比+10.7）と原材料・仕入価格の高騰は続き、遅れて販売価格への転嫁が徐々に進んでいるようです。

【 令和4年7～9月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲27.4（前期比+4.6）と、景況感はいよいよ若干の改善を予想しています。売上高DI指数▲22.1（前期比+5.2）、原材料・仕入価格指数67.2（前期比+8.8）、販売価格指数21.0（前期比+9.8）と、売上高DI指数は改善、原材料・仕入価格DI指数と販売価格指数は上昇を見込むなど、3か月後も6月期と同様に、売上指数の改善と仕入価格と販売価格の上昇により景況感はいよいよ若干改善する見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

今回の景況に関するコメントの特徴は、原材料・仕入価格の高騰一色です。全業種において、原材料・仕入価格の高騰が多く記載されていました。一方、飲食・小売等・サービス業では、コロナ関連の行動制限緩和による客数の増加がみられました。

現在の経済・物価状況は、①ウクライナ情勢等の影響による資源価格の上昇、②新型コロナ感染症等の需要・供給制約、③円安による輸入品上昇等の影響を大きく受けています。当面、不確実性が高い状況が続き、下振れリスクの方が大きいと予想されます。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和4年4～6月期)		見通し (令和4年7～9月期)	
業 況	▲30.7		▲27.4	
売 上 高	▲28.5		▲22.1	
販 売 価 格	17.9		21.0	
仕 入 価 格	72.0		67.2	
労 働 力	▲18.3		—	—

* 天気図の説明
（数字はDI値）
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

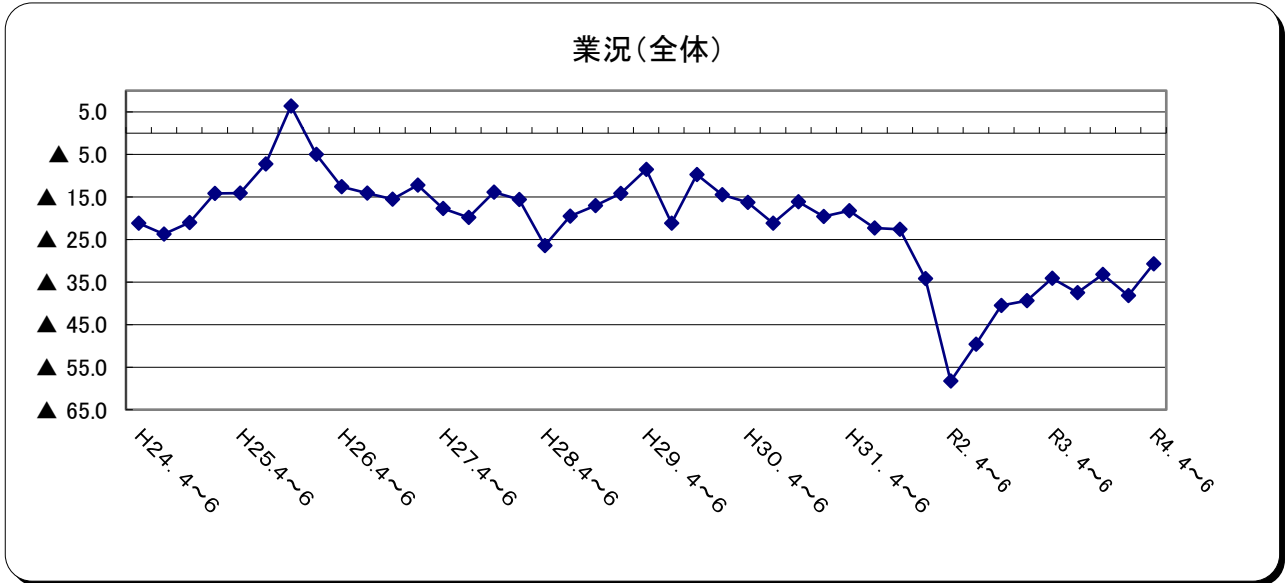
☆ 業況について（令和4年4～6月期実績）



全業種DI指数▲30.7、前期比7.5ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業▲6.3ポイント、②機械・金属製造業▲13.0ポイント、③その他の製造業▲18.8ポイント、④設備業▲20.7ポイント、⑤サービス業▲23.1ポイント

良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和4年4～6月期実績）



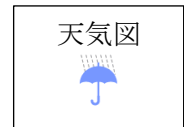
全業種DI指数72.0、前期比8.0ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業100.0ポイント、②化学・プラスチック製品製造業93.8ポイント、③飲食店89.5ポイント、④設備業84.0ポイント、⑤卸売業83.0ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和4年4～6月期実績）

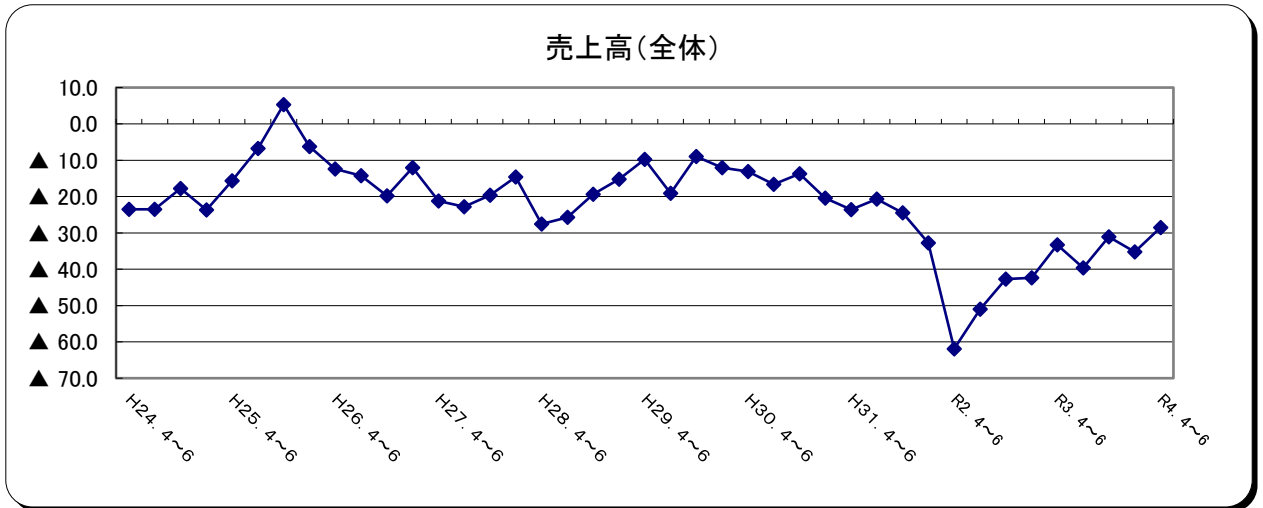


全業種DI指数▲28.5、前期比6.7ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業▲9.1ポイント、②食品製造業▲12.5ポイント、③機械・金属製造業▲13.0ポイント、④卸売業▲17.6ポイント、⑤建設業▲19.6ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和4年4～6月期実績）

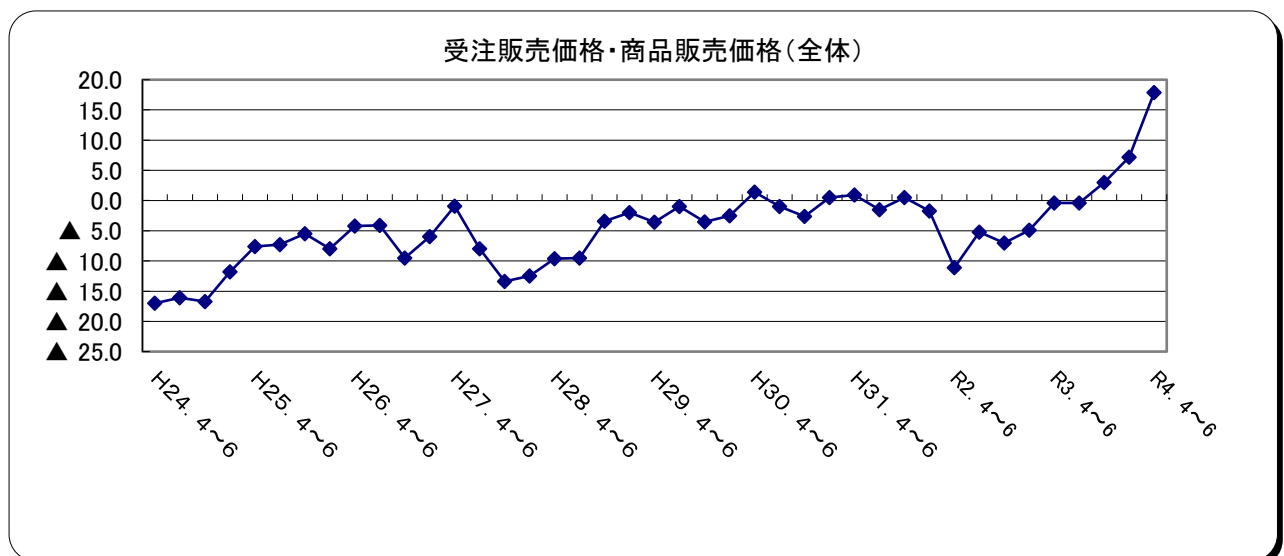


全業種DI指数17.9、前期比10.7ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業48.0ポイント、②その他の製造業37.5ポイント、③建設業、食品製造業、小売業(飲・食料品)23.1ポイント、④その他の小売業(大型店含む)21.1ポイント、⑤機械・金属製造業20.5ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和4年4～6月期実績）

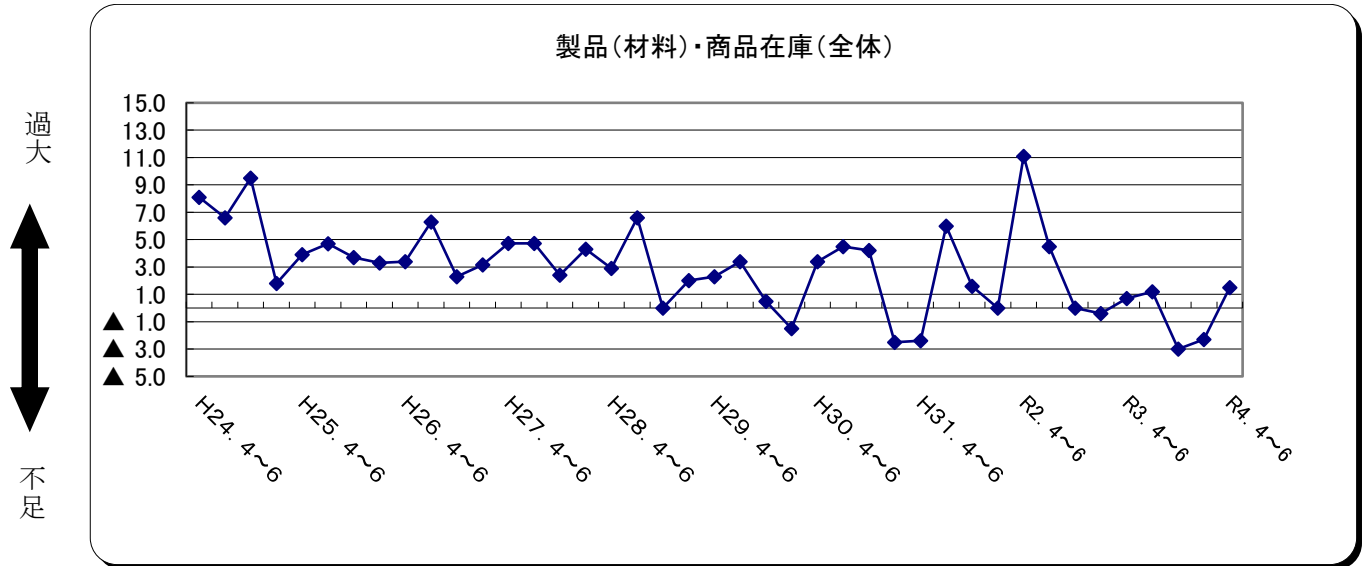
天気図



全業種DI指数 1.5、前期比 3.8ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 20.5ポイント、②化学・プラスチック製品製造業 20.0ポイント、③小売業(飲・食料品)5.7ポイント、④食品製造業 5.5ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)0.0ポイント



☆ 利益状況について（令和4年4～6月期実績）

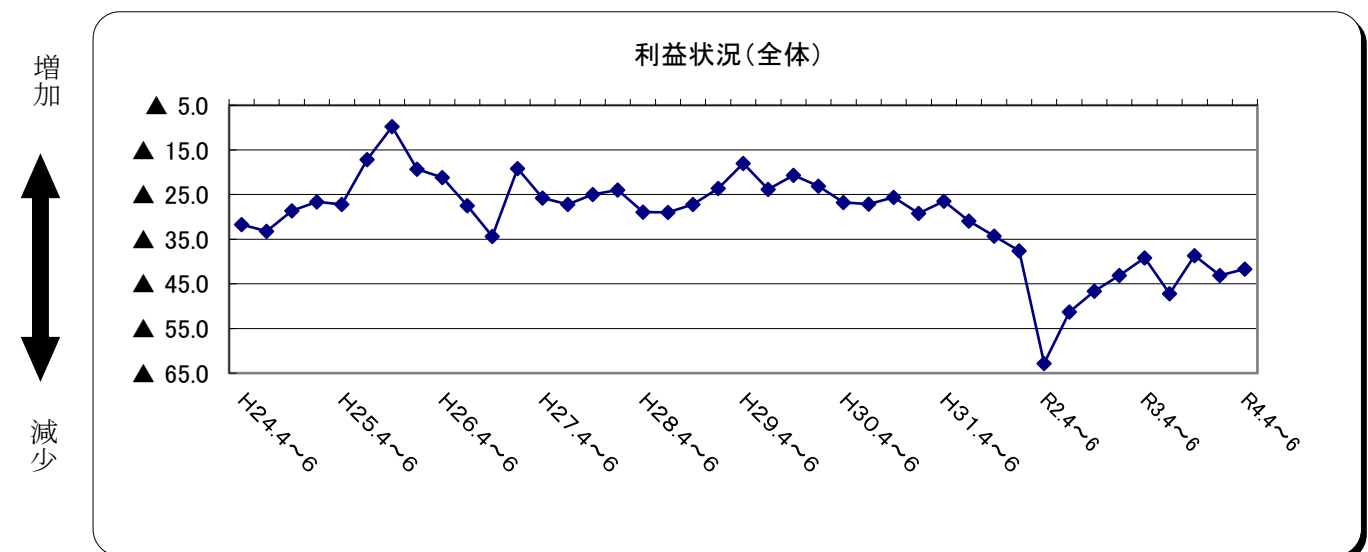
天気図



全業種DI指数▲41.7、前年比 1.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲21.1ポイント、②卸売業▲23.1ポイント、③建設業▲26.1ポイント、④化学・プラスチック製品製造業▲27.3ポイント、⑤その他の製造業、小売業(飲・食料品)▲37.5ポイント



☆ 資金繰りについて (令和4年4~6月期実績)

天気図

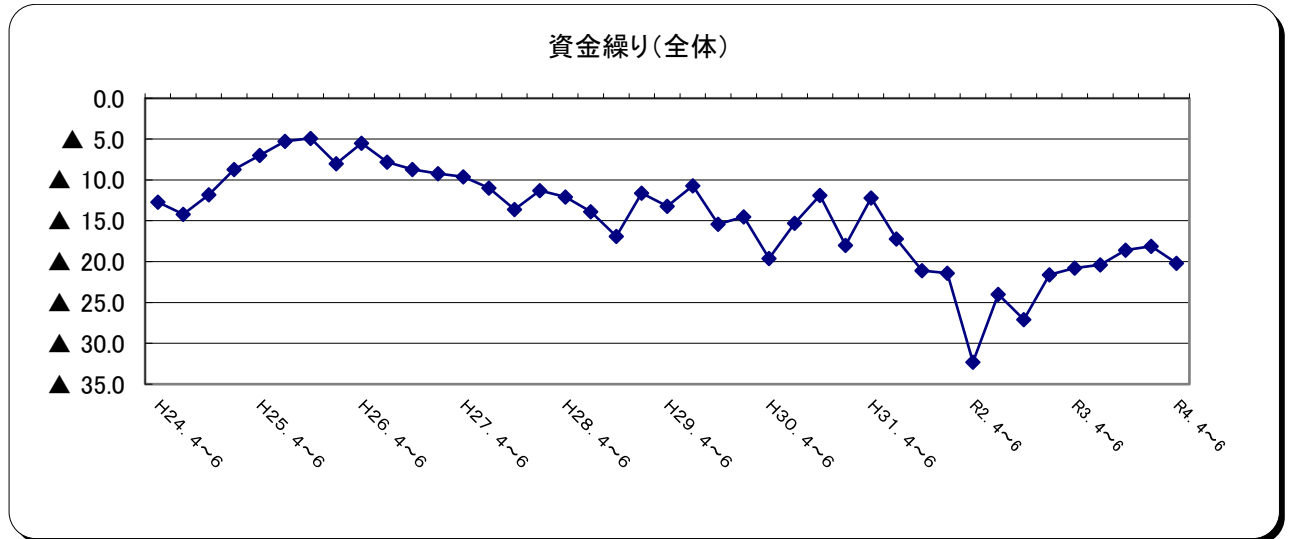


全業種DI指数▲20.2、前年比▲2.1ポイント低下

業種別DI指数(上位5業種)

- ①その他の製造業0.0ポイント、②化学・プラスチック製品製造業▲11.4ポイント、③食品製造業、小売業(飲・食料品)▲11.5ポイント、④機械・金属製造業▲12.0ポイント、⑤設備業▲13.6ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について (令和4年4~6月期実績)

天気図

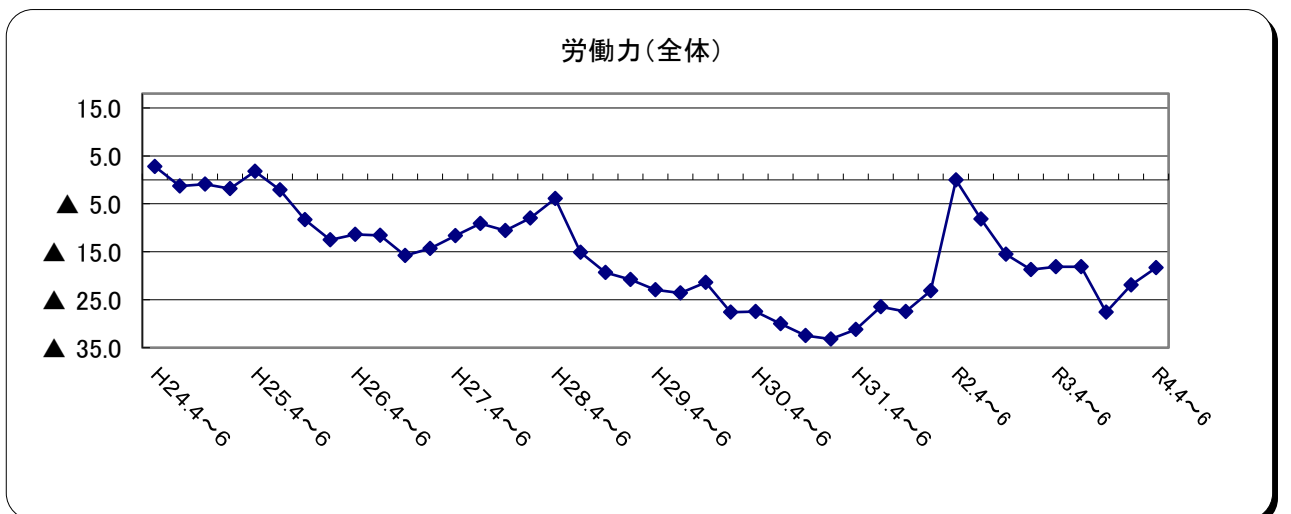


全業種DI指数▲18.3、前年比3.6ポイント上昇

業種別DI指数(上位5業種)

- ①繊維品製造業7.3ポイント、②卸売業、小売業(飲・食料品)0.0ポイント、③サービス業▲7.0ポイント、④その他の製造業▲8.6ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲16.2ポイント

過剰
↑
↓
不足

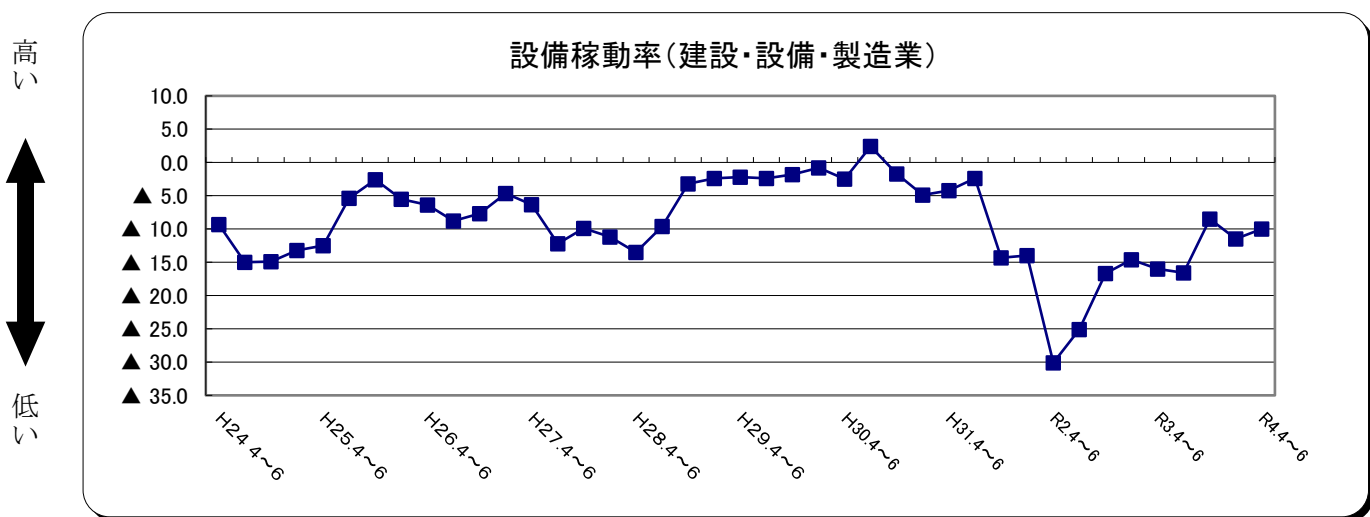


☆ 設備稼働率について（令和4年4～6月期実績）
（建設・設備・製造業関係）



全業種DI指数▲10.0、前年比1.5ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲12.7ポイント、②建設業▲3.2ポイント、③食品製造業▲5.9ポイント、④繊維品製造業▲7.7ポイント、⑤その他の製造業▲17.6ポイント

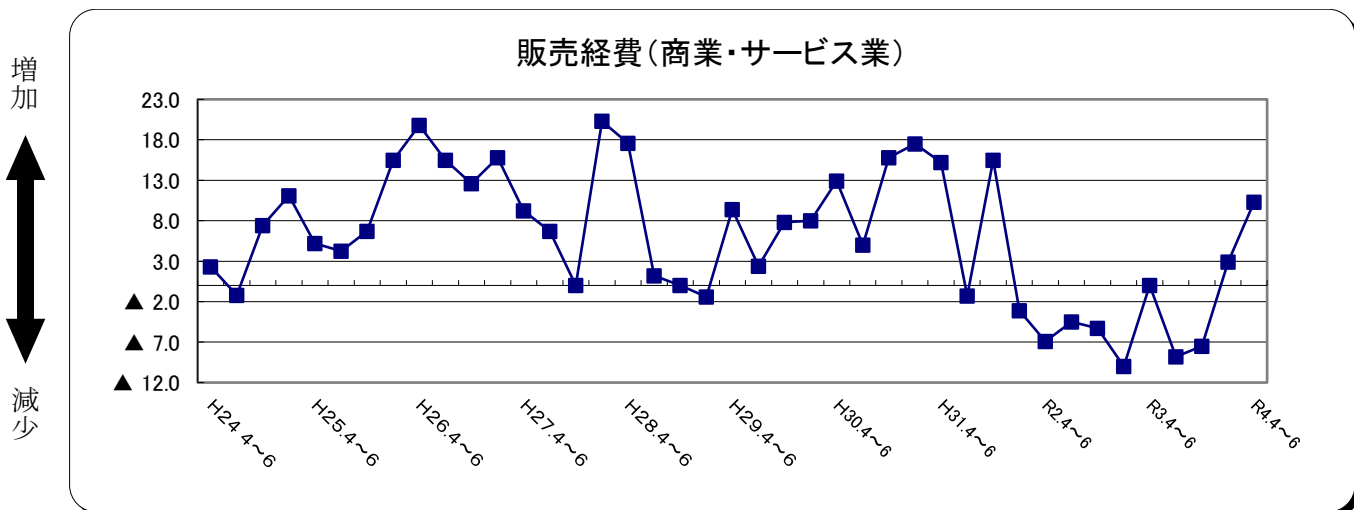


☆ 販売経費について（令和4年4～6月期実績）
（商業・サービス業関係）



全業種DI指数10.3、前年比7.4ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)42.9ポイント、②飲食店9.4ポイント、③その他の小売業(大型店含む)8.1ポイント、④卸売業5.7ポイント、⑤サービス業▲3.7ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和4年7～9月期の見通し）の業況について

天気図



全業種DI指数▲27.4、前年比4.6ポイント上昇

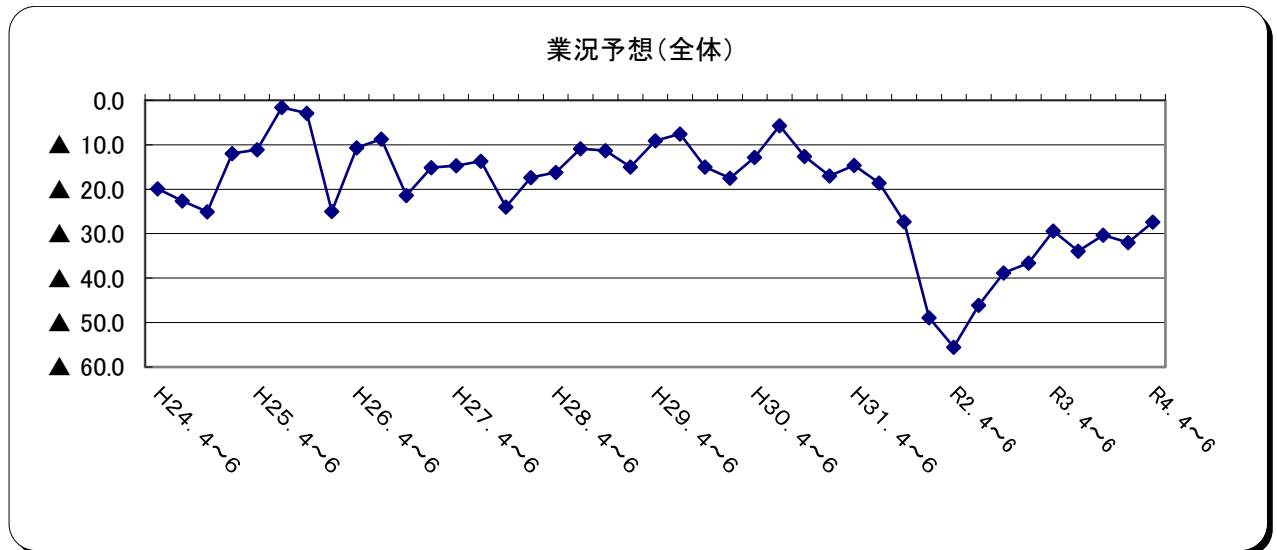
業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業0.0ポイント、②建設業▲13.0ポイント、③化学・プラスチック製品製造業▲15.4ポイント、④その他の製造業▲18.8ポイント、⑤設備業▲20.0ポイント

良い



悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和4年7～9月期の見通し）の売上高について

天気図

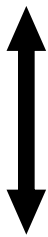


全業種DI指数▲22.1、前年比5.2ポイント上昇

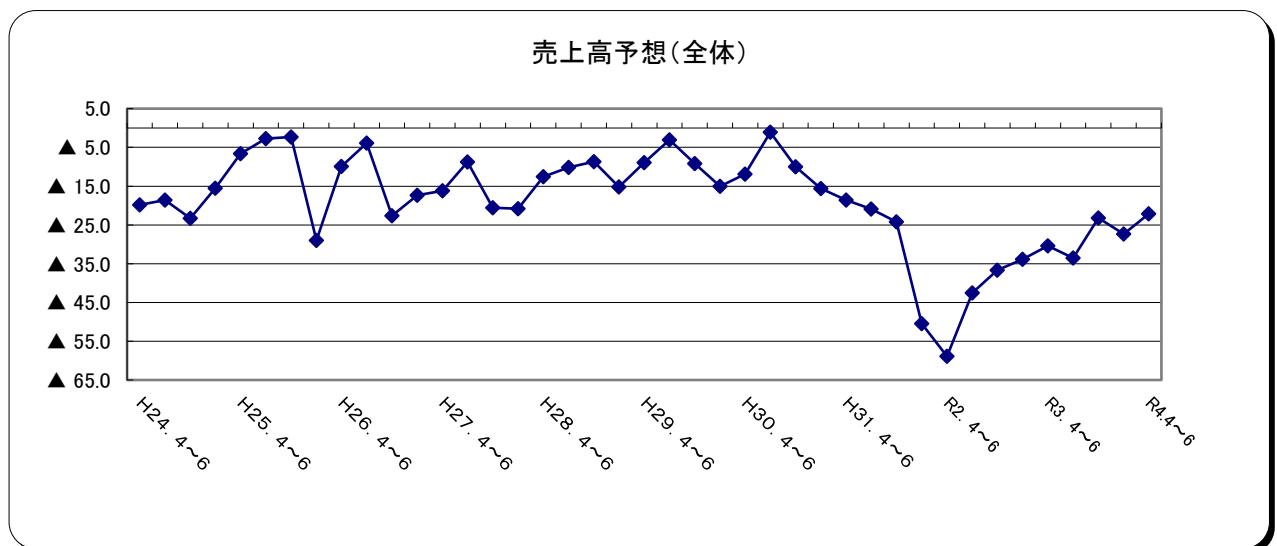
業種別DI指数（上位5業種）

- ①サービス業▲4.0ポイント、②機械・金属製造業▲4.5ポイント、③化学・プラスチック製品製造業▲7.7ポイント、④建設業▲16.9ポイント、⑤小売業(飲・食料品)▲17.6ポイント

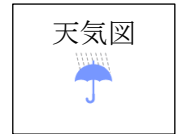
良い



悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和4年7～9月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

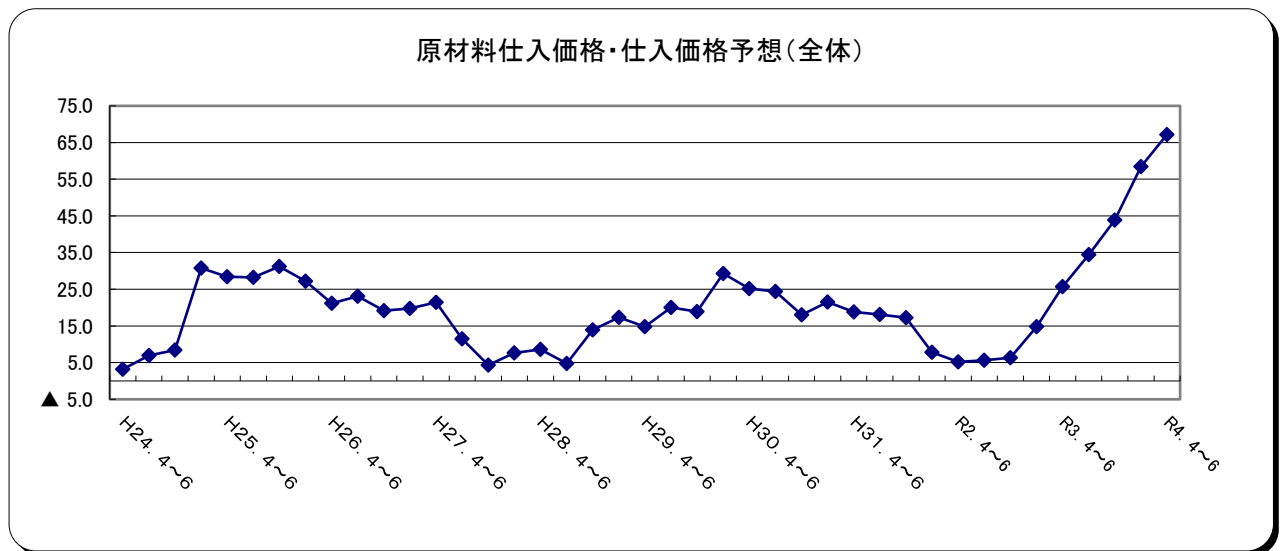


全業種DI指数 67.2、前年比 8.8ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製品製造業 93.8ポイント、②食品製造業 90.7ポイント、③飲食店 86.4ポイント、④小売業(飲・食料品)81.8ポイント、⑤繊維品製造業 77.1ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和4年7～9月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

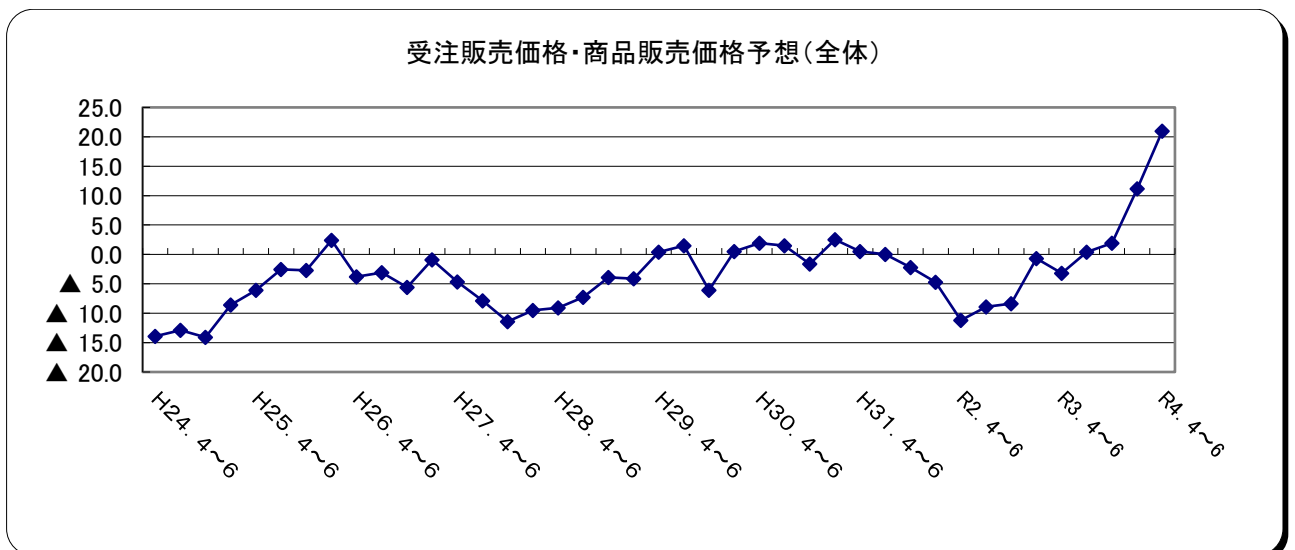


全業種DI指数 21.0、前年比 9.8ポイント上昇

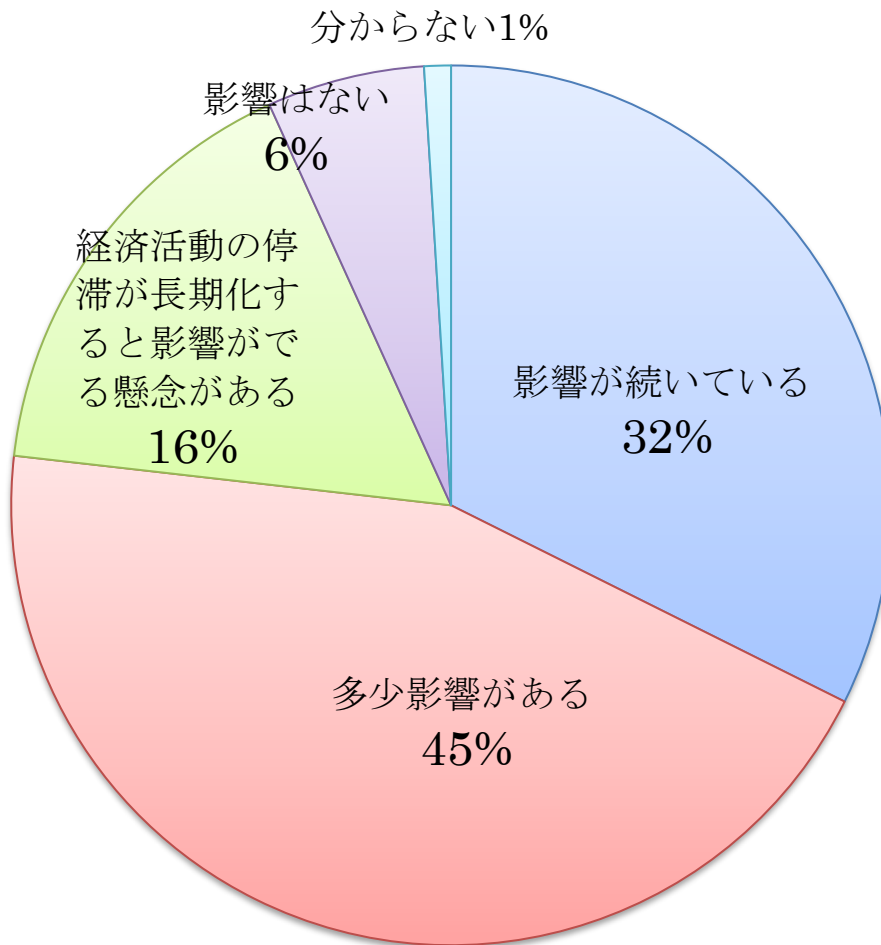
業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 8.4ポイント、②卸売業 41.2ポイント、③小売業(飲・食料品) 29.4ポイント、④機械・金属製造業 25.0ポイント、⑤化学・プラスチック製品製造業 23.7ポイント

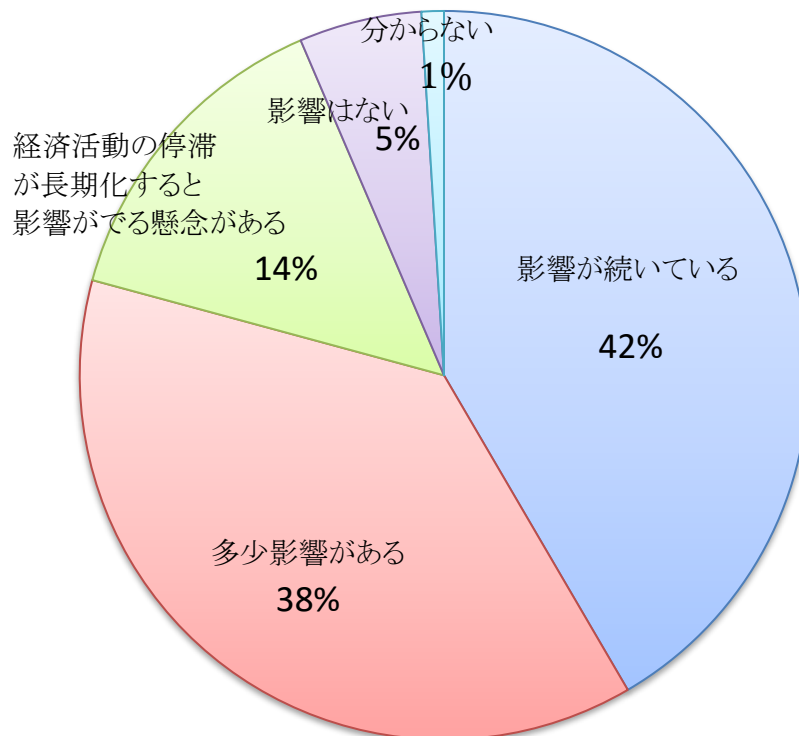
上昇
↓
下落



新型コロナウイルスの影響について



令和4年1月～3月期(参考)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・建て売り住宅は売れている感じがするが、大手住宅メーカーは高いのか受注が少ない気がする。
- ・物価の上昇が激しいので、剪定等の仕事が減少傾向。
- ・新年度に入ってから、仕入製品その他の物価上昇により非常に利益が圧迫されている。このような傾向になると、予算も取れなくなり取れても製品の数量が少なくなり、自然に売上も減少傾向になると思う。あまり良い状況ではない。
- ・新しい商品を造る為の片枠を発注しました。ダンプを2tから3tに買い替えて仕事の効率化を計る予定です。
- ・建設、林業の外に時勢に合った経営内容を検討中です。
- ・ウクライナショックもこれから出てきますので大変です。
- ・給湯器や設備機器の生産遅れによる品薄がつづいている。

設備工事業

- ・頑張ります。
- ・半導体不足や海外からの輸入部材の遅れに伴い工事期間の延長などが発生している。経済は動き始めたが依然として稼働率が低い。
- ・機器等の入荷が不透明、機材・部材の値上げで売上げ並びに利益に影響あり。

繊維品製造業

- ・原材料高騰等厳しい環境です。
- ・輸入価格の上昇、中国のロックダウンの影響で売上が不安定になった。
- ・4年程前から電力自由化で、リコーという会社から移行をお願いされたのだが、先月から急に信じられない値上げを言ってきて困っている。約2倍の見積りできた。
- ・値上げ前の駆け込み需要があり、9月末までは良いが値上げ後どうなるのか心配。
- ・まだまだコロナの影響が長くて困ります。
- ・材料、経費価格上昇での収益悪化のスピードが価格改定を上回っており、大変苦しいです。
- ・材料の高騰がかなり厳しい。円安で仕入価格も高止まりしている。

食品製造業

- ・業者からは値上げの事ばかり。価格を値上げしていかないと苦しい状況が続きます。その判断が難しいところです。コロナが収束してくれればいいのですが。後は世界平和を祈るのみです。
- ・新型コロナの影響が続いている所にロシアのウクライナ侵攻により、原材料の価格が急速に高騰し、経営状況は最悪です。
- ・顧客は一般家庭用消費者が主で、家庭の消費を抑えるべくおかずを一品減らしているような市場の感覚をうける。原価が上がるが売上が微減となっている。肉食関係はコロナ禍のダメージより今の状況、ゆるやかに下がり続ける景況の方が辛い。
- ・契約社員について採用したくても人材がない状況で苦慮しています。2022年8月15日より、一部製品が価格改定を行います。(値上げ)
- ・ウクライナ、コロナの影響による原料・燃料の高騰がどこまで続くのか先が見えず不安な状況です。

機械・金属製品製造業

- ・ウクライナ関係での各種品物不足。

- ・原材料・副資材・燃料費が高騰しているが、販売価格に転嫁出来ていない。収益を圧迫している。
- ・昨年より販売価格の見直し、改訂を行ったことにより付加価値増となり少なからずの利益計上となった。しかし乍ら今後は材料費の高騰が予想され、利益確保が厳しいと思われる。
- ・自動車業界の半導体部品次第で大きくプラスとなる。
- ・仕入価格上昇は一気に転嫁できず徐々に少しずつ製品価格に反映せざるを得ないので、その間収益がダウンにつながってしまう事は止む無しと考えるしかない。
- ・ロシア、ウクライナの戦争によって国内での生産自給率を上げるように努力して、自国でまかなう事が出来るようにしてはどうでしょう。日本のブランド品はどこの国よりまさっているから。
- ・同業者が廃業する為、8月より仕事量が多くなるようです。

化学・プラスチック製品製造業

- ・原油の高騰が続いており全部が客先に要請が出来ないものも有る。中国のコロナの影響で部品が入荷しづらく車関係の部品の生産が計画より遅れている。
- ・ロシア、ウクライナ問題も多少なりとも影響がありそうです。
- ・化粧品 容器、キャップ生産マスク使用のため影響があります。
- ・コロナ禍の継続、ウクライナ情勢による影響が今後どの程度響いてくるのか予断を許さない状況が続いています。また円安による仕入価格の上昇が懸念されます。
- ・日用品、雑貨がメインの生産アイテムの為、プラスチック原料の高騰等（原油関連）が気になっております。
- ・仕入が高騰し且つ納期遅延による売上げが遅れている。資金ひっ迫ではないが、マネーフローが感じられない。
- ・電子部品の入手が悪い。その分二重に発注する事が有りコスト増加になっています。

その他製造業

- ・コロナの影響と合わせてロシア、ウクライナ紛争の影響が大きい。1. 資材の高騰 2. 設備投資の後れ. 3. 少ロット発注 4. 短納期、無理な注文が多い。
- ・円安の影響で輸入品、海外での加工費が著しく上昇しており、また全ての資材が毎月のように値上がりしていて、全てを販価には乗せきれない。

卸売業

- ・各種経費の値上がりが今後の収支を不透明にしている。
- ・製造業の環境の変化が大きく、経済も大きく振れると思います。まずは悪い方へ。
- ・商品価格上昇、商品不足により厳しい状況です。
- ・夏以後はよくわかりません。
- ・更なる補助をお願いしたいです。
- ・7月、8月値上げラッシュ 今後続く。
- ・先行きが不安。ガソリン代など仕入価格が上昇。

小売業（飲・食料品）

- ・あいかわらず景気よくないです。
- ・膝治療の為、営業を休みにしております。4月～9月ごろまで（令和3年末から原材料が値上がりしています。）
- ・仕入価格は若干ですが上昇しています。
- ・昨年に比べ個人のお客が減少しています。
- ・景気を良くしてください。

その他の小売業（大型店含む）

- ・今年薬価改正で2%台引き下げ影響が避けられないと思います。売り上げ・利益減少心配しております。
- ・原油価格の上昇、円安により仕入価格が3ヶ月で10%近く値上りした。まわりの競争

もあり、その分をなかなか転化する事が出来ない。また車両燃料費もかかり利益は減少している。

- ・だんだん悪くなっている。
- ・5月に入ってから、お客様の来店頻度が減少、買い控えがおきていると感じます。
- ・昨年と比較して客数は同じでも客単価、買上点数が増えている。
- ・待っていたのでは、お客様は来ません。TEL や出向いて行って顔を出して、始めて買って頂けました。やはりマスクで安心している様で肌に対してかまわない。4月までは良かった。
- ・流れがとぎれている。
- ・世の中の動きに対し想定する程の回復はありません。今後も商品値上げもあるので楽観はできないと思います。
- ・店舗数減少の為売上低下、仕入原価高騰、気温低く雨多い。
- ・以前のようにイベント行事がないので仕事が少ない。
- ・ウクライナの戦争により輸入資材の値上がり、入荷が不安定となっている

飲食店

- ・ようやく客が戻ってきた。
- ・そろそろ売価の改定を予定しております。
- ・来店客数、売上高とも回復のペースがゆるやかです。団体客はまだまだのようです。
- ・仕入価格の引上げ幅が大きすぎます。
- ・仕入価格の上昇に比べ、売価の改定がおいつかず今後が見通せません。
- ・コロナの自粛が解除されても来客数、売上高とも回復のペースがとても鈍いです。
- ・仕入価格の大幅な上昇に危惧しております。
- ・いつも相談にのってもらいありがとうございます。
- ・1. 食用油をはじめ仕入価格の上昇がジワジワ経営に影響が出てきている。2. 販売価格の値上げはかなりむずかしい。
- ・物価上昇が著しく大変苦戦しています。
- ・中々コロナ禍以前以前のような状況には当店は戻りません。人の流れはあちこち盛況のようですが・・・。
- ・先行き考えられません。
- ・コロナによる外食離れに併せて、物価高もあり相当なダメージです。
- ・原材料がおおむね上昇の為、売価を値上げさせざる負えない状況になっている。
- ・仕入価格や運営経費の高騰が続き、やむなく税別 10%の値上げをしました。コロナ減少によるテイクアウト需要の落ちつきと、値上げ・物価上昇による消費の落ち込みで今後の減収減益が懸念されます。
- ・仕入価格が上昇しており、お店にかかる負担がのしかかり厳しい現状である。
- ・光熱費の高騰、特にガス代及び仕入金額の上昇、感染対策消耗品等のコスト高がかなり影響する。見通しが立たない。
- ・景気も良くないなか、料量・燃料の高騰で悪すぎる。
- ・コロナウイルス感染対策への規制緩和は感じられていますが、お客の集客がまったく回復せず、また物価の値上げも止まらず厳しい状態です。
- ・度重なる食材の高騰に仕入金額の割に、売り上げが追いつかない状況です。
- ・お世話になります。どこを見ても値上げラッシュですが、当店では値上げもできずレジ袋でさえ有料化することができず大変です。早くコロナ終息することを祈るばかりです。
- ・コロナ以外にも世界情勢の変化により厳しい時が続いています。これからもお力添えよろしくお願い致します。
- ・仕入価格が上昇し続けているため、困っています。
- ・仕入価格上昇で経営苦しい。
- ・Takeout のお弁当の売上も横ばいなので、各店舗がみんなで販売できる場所がほしいです。
- ・売上はコロナ前に戻りつつあるが、仕入価格(油、小麦 etc)が上昇しているので利益を圧迫している。

- ・コロナから少し回復したように思うが、まだまだです。

サービス業

- ・当社は一般クリーニング業ですので、4月～6月期は前年対比減少でも利益は出ていますが、これから7月以降はお祭りや花火大会などのイベントで売上と利益が出るか決まっています。
- ・回答欄が3答しかないが現在はもっとあいまいな所があると思う。
- ・昨年の同時期に比べると人の動きが活発に感じる。
- ・現在の事業に加え新たな事業に参入予定です。
- ・売上が上がっているが、借入れ返済や仕入価格の上昇から会社利益につながっていない。いまだ。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。
- ・「まんぼう」などの規制がなくなりお客様の来店が増えています。一方お客様の中にもコロナに感染した方が出てきているので、今一度緊張感を持って営業したいと思います。
- ・長く続いている不景気の中でのコロナと色々な物が値上がりしている中で増々苦しくなっていくのではという懸念があります。カット、パーマなどの同期が伸びたり商品の売れ行きは期待しにくいと思われま。
- ・コロナ、戦争など世界情勢の影響もあるかと思いますが、建築費の高騰により土地等の関連ニーズが低下しています。仕入れ値も下げざるを得ず腰をすえて対応して行きます。
- ・結婚式組数は回復しつつあるが、コロナウイルスによる社会情勢の変化で少人数化がトレンドに。一組あたりの売上げが減少し新しいモデルをつくり上げる必要性を感じています。(売上げの減少/一組あたりは想定以上です。)
- ・コロナの影響は、結婚式のような人が集まるイベントへは数年続くと思われ、企画など大きく変更追加検討している。
- ・5～7月と集中してデザイン案件があり、仕事時間のバランスを上手くとっていきたいと思います。
- ・仕入が一週間で上昇してついていけない。お客さんがコロナによって来ない。売上が減少している。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和4年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、206社（回答率71.0%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

$$D I \text{ 方式は、 } \frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100 \text{ により算出}$$

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所